

令和6年度 学校評価表（中間評価）

能登町立柳田小学校

学年	評価項目	今年度の重点項目	担当者	評価規準・評価の観点	具体的な取組	実現状況の達成度判断基準	評価材料	自己評価		取組の成果と今後の改善策	学校評価	
								中間	最終		中間	最終
1 学力の向上	【創意工夫のある授業づくり】 【授業を支える学習基盤の充実】	①教師自身が児童と共に学ぶことの楽しさを味わえる授業を大切に、より良い授業を追求する。	研究主任	「楽しい」「分かった」と実感できる授業を展開し、児童の自ら学びへと向かう力を高めている。	・授業導入の工夫 ・教材研究の充実 ・授業相互参観	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ①91.5 ②89 保護者アンケート ①97.5 ②81.3 職員アンケート ①81.8②83.3	87.4 A		・児童が意欲を持って問題に取り組むことができるよう、学習の導入部を工夫した。	B	
		②校内研修の充実を図ることで、教師一人一人が授業力を向上させる。	研究主任	組織的・計画的な研修により、職員の授業力の向上が図られている。	・校内授業研究 ・外部講師を招いた研修 ・校外研修会への参加推進	アンケートの『肯定的な評価』の割合と検証問題達成率 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ③90.2 職員アンケート ③57.1 [学期末検証問題達成率36.1]	73.6 B		・1学期に外部講師を招いた研修会を計4回実施したが、日々の取り組みにはつながらなかった。算数科を中心に授業づくりを見直す。共通実践を明確にし、毎月検証する。		
		①学習規律の徹底や、話し方・聞き方・つながりワードの指導を共通実践し、学習基盤を確立する。	研究主任	授業ルールや話し合いの指導により、児童が主体的に学びを深めようとする授業づくりが行われている。	・柳田小授業ルールの確認 ・話し方・聞き方・つながりワードの指導 ・家庭学習の工夫 ・自学ノート ・漢字・算数検定	アンケートの『肯定的な評価』の割合と校内検定合格率 A：90%以上 B：70%以上90%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ④86.6 保護者アンケート ④63.8 職員アンケート ④90.9 [校内漢字検定合格率98][校内算数検定合格率38]	80.4 B		・めあてをもって授業に臨んだり家庭学習に取り組んだりできるようにするために、「できるようにした」「わかった」「もっとしたい」と思える授業づくりを工夫する。		
		②常に学習ツールとしてタブレット端末を効果的に活用し、情報活用能力の向上を図る。	GIGA推進教師	「GIGA研修」等により、個別最適な学びや協働的な学びのために端末が効果的に活用されている。	・GIGA校内研修の充実 ・教材フォルダの充実 ・端末持ち帰り手引作成	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑤90.2 職員アンケート ⑤81.8	86 A		・新しい学習アプリの使い方講習会などの職員研修を実施した。今後は、授業の中で各自の考えを交流させる場面で多く活用していきたい。 ・外部講師を招いた研修会を実施する。		
		③読書指導、名文暗唱等を通して、自分の語彙を増やし、豊かな表現ができるようにする。	研究主任 図書担当	児童が読書、名文暗唱等に積極的に取り組み、豊かな表現を吸収しようとしている。	・朝読書の充実 ・家庭読書の実施 ・教養文化館との連携 ・毎月の名文暗唱 ・作文指導	アンケートの『強肯定（そう思うのみ）』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑥62.2⑦90.2⑧74.4 職員アンケート ⑥80.7⑦88.9⑧57.1 [名文暗唱合格率93.3]	75.5 B		・週1回図書館に行く時間を設けたが、図書貸出冊数が伸びていない。（月10冊以上本を借りた児童が30.5%）授業に関連した図書の紹介などを工夫する。		
2 豊かな心の育成	6	①教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。	道徳推進教師 生徒指導主事	児童が自分の良いところに気づき、自他の存在を大切にしようとする意識を高めている。	・道徳教育の充実 ・特別活動の充実 ・個々の良さを引き出す指導	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑨93.9⑩89.0⑪84.1 ⑫82.9 保護者アンケート ④91.3 職員アンケート ⑨91.7⑩88.9	88.7 A		・児童会や縦割り班の再編を行い、縦割り遊びの時間を設ける等、児童発信による異学年のかかわりの充実を図った。 ・児童がより主体的に動けるよう工夫する。	A	
		②地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さや素晴らしさに触れて「感動」を味わうことで心を豊かにし、地域に誇りと愛着が持てるようにする。	教務主任	地域行事への参加や地域の各種団体との交流等を通して、児童は地域のよさを感じ取り、規範意識や郷土愛を深めている。	・地域行事への参加呼びかけ ・地域のよさを感じる体験活動の充実 ・地域への学校支援依頼 ・やなぎっ子の木の取組	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑬92.7⑭84.1 保護者アンケート ⑤80.0⑥63.8 職員アンケート ⑬92.3⑭58.3	78.5 B		・7月までに、地域講師による学習や地域に出かけて行う学習を、各学年1回以上行った。今後は、自分が地域の中でできることを考える時間や考えを発信する時間を取るよう、工夫していく。		
3 体力・生活習慣の向上	8	①家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。	保健主事	学校保健目標のもと、睡眠や食生活等、健康な生活に関する意識を高め、身につけている。	・年間を通じた健康教育と食育 ・学校保健委員会 ・メディアコントロール週間 ・非行被害防止講座	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑮85.4⑯85.4⑰84.1 保護者アンケート ⑦75.0⑧85.0⑨45 職員アンケート ⑬69.2	75.6 B		・小中連携の学校保健委員会において、心のケアについて協議した。 ・歯みがき学習や児童委員会の歯みがきチェックを実施した。 ・非行被害防止講座を実施した。	B	
		②「スポチャレいしかわ」「いしかわつ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の目標に挑戦・努力し、やり遂げることで生まれる達成感を味わうことができるようにする。	体育担当	「スポチャレいしかわ」の取組が計画的に行われている。  校内外の大会への参加を通して様々な記録に挑戦している。	・「スポチャレいしかわ」への取組 ・体育的行事の充実 ・各種大会への積極的な参加推進	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑱90.2 保護者アンケート ⑩81.3 職員アンケート ⑭80	83.8 B		・水泳やマラソン練習の際に、各自のめあてを決め、それに向かって練習するように指導した。 ・今年度もいしかわつ子駅伝に参加する。		
4 安心安全な学校	10	①注意深く児童を観察し、児童の変化に気づくことでいじめ・不登校の未然防止に努める。	生徒指導主事 特別支援教育コーディネーター	児童の状況の的確な把握と、それに基づいた適切な指導が、職員の共通理解のもとで行われている。	・児童理解の会 ・外部機関との連携 ・校内研修の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	児童アンケート ⑲96.3⑳86.6㉑80.5 保護者アンケート ⑪93.8⑫83.8 職員アンケート ⑮100	90.2 A		・月1回全職員で児童理解の会を行うと共に、気になる児童については、スクールカウンセラーにつなぐなど、連携して対応している。 ・積極的な情報交換ができるよう、担当が職員に声をかけている。	A	
		②環境整備と計画的な訓練を行い、危機管理マニュアルの定期的な確認と見直しをする。	教頭 保健主事	児童が生活する場の施設・設備について教育環境が整備されている。	・マニュアル作成と見直し ・安全点検 ・清掃活動 ・避難訓練の充実 ・事故対応研修	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	保護者アンケート ⑬97.5⑭97.5 職員アンケート ⑯100	98.3 A		・1学期は3回の避難訓練を実施した。今後は、地震・水害・不審者対応マニュアルを実態に即して見直す。		
5 家庭・地域との連携	12	①地域の声や、保護者の思いを大切に受けとめ、教育活動にいかしていく。	教頭	保護者・地域・学校が力を合わせて教育活動に取り組んでいる。	・除草作業 ・資源回収 ・PTA役員会等	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	保護者アンケート ⑮97.5⑯97.5 職員アンケート ⑰100	98.3 A		・授業参観や各活動への参加率が高い。 ・現在、保護者の声を受け、学級役員の定員数改正に取り組んでいる。	B	
		②地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。	教務主任	地域の素材を元に、学習活動を行ったり、地域の人材を活用したりして、地域の教育力を積極的に活用している。	・地域の方を講師に招いた授業 ・地域教材の開発と活用 ・体験活動の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	保護者アンケート ⑱97.5 職員アンケート ⑱33.3	65.4 C		・地域人材リストを活用し、地域の方を講師に招いた学習を行った。今後は、教材の開発と共に、職員間で事例を共有する取組を行う。		
		③学校公開、授業参観を定期的に行い、保護者・地域に開かれた学校づくりを行う。	教頭	HP、各種おたより、学校公開等を通して、日々の教育活動を保護者や地域に伝えている。	・地域・保護者を対象とした公開授業 ・各種お便りの定期的な発行とHPの更新による情報発信	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	保護者アンケート ⑲95⑳97.5 職員アンケート ⑲92.3	94.9 A		・1学期は2回の授業参観を行った。2学期は2回、3学期は1回を予定している。		
6 働き方改革と組織力の向上	15	①学校運営への参画意識を高揚し、前例踏襲することなく協働して課題を改善する体制づくりをする。	教務主任 教頭	主任を中心に、評価に基づいた課題改善策が示され、組織的に取組が行われている。	・客観的評価を生かした学校運営 ・主任会議の充実 ・課題改善の推進	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	職員アンケート ⑳92.9	92.9 A		・生徒指導、給食指導などで新しい取組の提案が出ている。主任層で検討し、組織的に運営できるよう後押ししていく体制をつくたい。	A	
		②YSS（若プロ研修）を活性化し、若手もベテランも人間力と同時に学校力を高める。	教頭 教務主任	様々な行事や授業研究において、学び合い、教え合うことでそれぞれの良さを吸収している。	・学校の課題に即した研修の設定 ・職員同士で学び合う風土の醸成	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	職員アンケート ㉑85.7	85.7 A		・今年度は年度当初の「学級開きについて」の研修をはじめ、児童の心のケア研修等を行った。		
		③効率化や改善を意識して日々の業務に取り組む。	教頭 教務主任	働き方改革を意識して、実施している。	・定時退校日や定時退校時間の設定 ・校務分掌の複数体制化	アンケートの『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：60%以上70%未満 D：60%未満	職員アンケート ㉒85.7 4～8月平均時間外勤務時間 22.8時間	85.7 A		・4月～8月の平均時間外勤務時間を、昨年度よりも13.9時間短縮することができた。		
<p>【学校関係者評価委員からのご意見】</p> <p>1. 学力の向上・・・学力に学年差がある。算数科の指導については、改善が必要である。また、家庭学習の方法についても工夫が必要である。                  2. 豊かな心の育成・・・子供達の「チャレンジしたい」という気持ちを学校が応援しているのが良い。縦割り班活動も継続すると良い。                  3. 体力・生活習慣の向上・・・マラソン大会等、体力向上が図られている。歯や睡眠等が人間の体に及ぼす影響を正しく伝え、自分で自分の身体を管理できるよう育ててほしい。                  4. 安心安全な学校・・・定期的な訓練実施がされている。児童アンケートから「学校が楽しい」の項目の評価が高かった。                  5. 家庭、地域との連携・・・昨年度と比べ、地域人材を活用しようとしている。地域ならではのイベントを継続してほしい。                  6. 働き方改革と組織力の向上・・・時間外勤務時間が減ったことが良かった。地震等で大変な中、研修を行っているのが良い。</p>												